

2023年度日本国際保険学校（ISJ） 海外セミナーを開催しました

一般社団法人日本損害保険協会（会長：新納 啓介）では、ISJ 海外セミナーを、「人々の幸せを実現するための損害保険業界の使命」をテーマとして、カンボジア・プノンペンで2月15日、16日の日程で約120名の参加者のもと対面開催しました。プノンペンでの開催は、2006年、2012年に続き3回目となります。

カンボジア保険監督当局が策定した「保険セクター戦略的発展10か年計画」にもとづき、ERM・ORSA、大規模自然災害リスクへの対応、日本の自賠責保険、自動車保険の損害調査、保険商品の技術革新、損害保険協会の役割について、現地課題解決の参考となるプログラムとしました。

開講式には、駐カンボジア特命全権大使の植野 篤志 閣下、カンボジア保険監督庁長官のボウ・チャンピロー長官他にご臨席いただき、カンボジアの損害保険業界の発展と両国の友好関係のさらなる発展への期待について祝辞をいただきました。

カンボジア保険監督庁上層部を含む参加者から活発な質問が寄せられ、現地関係者の損保業界発展に対する熱意が感じられました。また、当日の様子はカンボジア国営TV他で報道されました。

また期間中、過去のISJ卒業生を集めた同窓会を開催し、保険監督庁No.2の要職を務める卒業生など約30名が旧交を温めました。



開講式の様子

（左から3人目より、カンボジア保険監督庁チャンピロー長官、植野特命全権大使、1人空けて損保総研堀理事長）



会場の様子

日本国際保険学校（ISJ：Insurance School (non-life) of Japan）

- 国連貿易開発会議（UNCTAD：United Nations Conference on Trade and Development）の勧告および東アジア保険会議（EAIC：East Asian Insurance Congress）の要請を受け、東アジア地域の損保業界に対して行う海外技術援助研修プログラム。
- 1972年に一般コース、1991年に上級コースを開講し、これまでに一般・上級コースでのべ2,200名以上の卒業生を輩出している。
- 海外セミナーは1993年より開催し、現在までに延べ6,100名を超える参加者を迎えた。